

工所 鉄事業 部倉 磯小

新事務所で営業開始

会議室増床、バリアフリー化

川金ホールディングス傘下で、特殊鋳物や産業機械装置の製造を手掛ける磯部鉄工（本社・山口県下関市、社長・荒木逸治氏）の小倉事業所（北九州市小倉北区東港）に新事務所が完成し、先月31日から営業を開始した。旧事務所と同じ敷地内に鉄骨造3階建てで休憩スペースや会議室などを充実させ、バリア

フリー化や、女性の利用しやすさにも配慮。歴史を追っパネル表示や利用先の図示などで、士気高揚を図っている。

新事務所は昨年9月に地鎮祭を行い、31日に竣工した。同社の10周年を祝うシンポジウムも開催された。旧事務所と同じ敷地内に鉄骨造3階建てで休憩スペースや会議室などを充実させ、バリアフリー化や、女性の利用しやすさにも配慮。歴史を追っパネル表示や利用先の図示などで、士気高揚を図っている。



稼働した新事務所

延べ床面積は計746・35平方メートルと約1・5倍に増加。1階には従業員全75人が座ることができるコミュニケーションホールを設け、同社の看板商品であるSIC（スーパ



「SIC Next」にちなんで「SIC Next」



旧事務所は今後作業スペースとして建て直している。また、小倉事業所では下関の本社とも連動する目的で、鋳物の型取りを担う自動整正ロボットの導入も検討している。

新事務所の執務室（左）、落成式でテープカットに臨む荒木社長（中央）

鉄鋼新聞
2025年4月10日(木)2面掲載